

児島湖流域 水環境調査 2026

令和8年6月7日（日）10時00分～13時00分に児島湖流域の河川や水路に設けた調査地点（30箇所）において行われた児島湖流域エコウェブが主催する「児島湖流域 水環境調査 2026」に一般参加者29名、調査担当者19名（うち会員関係7名）が参加しました。

毎年6月5日の環境の日（世界環境デー）に近い日曜日に、身近な河川などの水質に関心のある全国の市民団体や学校などが参加して『身近な水環境の全国一斉調査』が行われています。

この活動に共同参画する形で、農林水産省が農業用水確保等のために造成した“児島湖”及びその周辺で環境保全に関する実践活動を行っている「児島湖流域エコウェブ」が、児島湖流域の河川や水路において平成18年（2006年）から水環境調査（COD等の測定、水辺周辺の植生調査等）を行っており、今回この水環境調査に初めて参加しました。

当日はあいにくの雨でしたが、河川や水路からの採水や水温測定等の支援を行いました。また、一般参加者の中には地元高等学校の生徒さんが参加（計24名）されており、屋外環境学習として体験して頂きました。

なお、雨の影響により、現地で行う予定の作業が縮小（現地CODパックテストが採水ビンによる室内測定等に変更）されたことから、高等学校の生徒さんや初参加の当会員にとって少し手持無沙汰の感があったと思われます。

今までは天気にも恵まれた調査であったと聞いており、悪天候の下での支援の仕方について、より良い支援協力ができるよう主催者側と意見交換を行い、来年も参加することとします。



河川の水を採取



橋の下で室内測定用の水を採取ビンに



水路の水を採取



採取した水の水温測定